HANATECH GARDENS

Harmony Nature

取扱説明書

HaNaウッドフェンス　タテ格子

横桟端部キャップ

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の ⃠ 禁止 、 ⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

⃠ 禁止

◆本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。

◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。

◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。

◆破損や事故の原因となりますので、重いものを乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。

◆破損や故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。

◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けないでください。

◆変形や変色の原因となりますので、有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

◆高圧洗浄機は使用しないでください。

◆フェンスを舐めたり、噛んだりしないでください。
安全な材料を使用しておりますが、健康を害する恐れがあります。

横桟端部キャップ

HANATECH GARDENS

HaNaウッドフェンス　タテ格子

取付説明書

● このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
● この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、
あなたやほかの人々の危害や損害を未然に防止するものです。
● この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠ 警告	●取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠ 注意	●取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容または物的損害のおそれがある内容を示しています。

＜施工の前に＞

⚠ 警告

● 本製品は、隣地との境界を目的に設置するものです。転倒防止を目的とした防護、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。

● 本製品の施工にて、フェンス格子の現場カットが必要な場合には別売『小口用塗料セット』が必要です。使用しない場合、フェンス格子の腐食・割れが生じる場合があります。

⚠ 注意

● 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注意

●施工前にフェンスパネルを太陽光に当てないでください。反りの恐れがあります。
●施工前にフェンスパネルを水に濡れた状態で放置しないでください。格子と格子が引っ付くことがあります。
●施工前にフェンス格子とフェンス格子が直接触れる状態で放置しないでください。
格子と格子が引っ付くことがあります。格子を重ねる際には梱包に使用している間紙を使用ください。
●フェンス格子塗料面は有機溶剤や石油類に侵されやすいので、付着しないようにしてください。
●火気があたると燃える可能性があります。火気は近付けないでください。
●フェンスが降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのようなものが発生する場合があります。
これは塗膜内に界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。
触らずに乾燥させることにより、白いシミは減少しますので、そのままの状態で放置してください。
●本製品の取付については、取付説明書を必ずご確認ください。
●柱のピッチは柱芯々１０００mm以下で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
●横桟の柱からの繋ぎ目は柱の芯にくるようにしてください。
●ブロック上に設置の場合、ブロックの穴と合わない場合があります。
別途ブロックに穴を開けるか、穴が合うブロックをご使用ください。
●ブロック施工の場合、フェンス本体がブロック幅より外にでる場合があります。
●天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
●自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。

■梱包明細

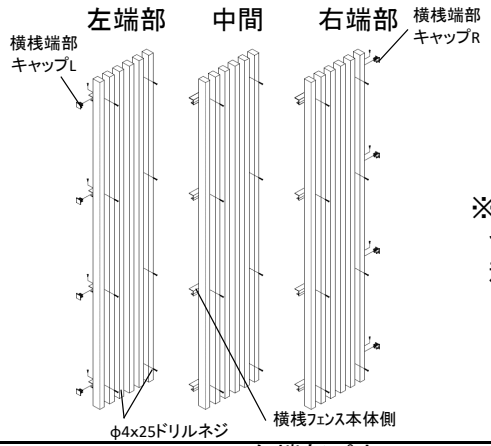
⚠ 注意

●開梱時に部品の種類・数量をご確認ください。　●商品に異常がないことをご確認ください。

1 パネル　※工場出荷時にW400程度にユニット化されたパネルを、以後『**セミユニットパネル**』とします。

名称 ・ 略図 ・数量

30x45



※フェンス全幅分の縦小桟は、約W400を目安に
セミユニットパネル化しています。
規格寸法は下記の通りになります。

			左端部パネル		中間パネル		右端部パネル	
			T−10 T−12 T−14	T−16 T−18 T−20	T−10 T−12 T−14	T−16 T−18 T−20	T−10 T−12 T−14	T−16 T−18 T−20
左端部パネル W355			1	1	−	−	−	−
中間パネル W390			−	−	1	1	−	−
右端部パネル W390			−	−	−	−	1	1
φ4x25ナベドリルネジ			6	8	6	8	6	8
横桟端部キャップ	L　R	L	3	4	−	−	−	−
		R	−	−	−	−	3	4
φ4x13ナベドリルネジ			3	4	−	−	3	4

2 柱

名称 ・ 略図

キャップ付

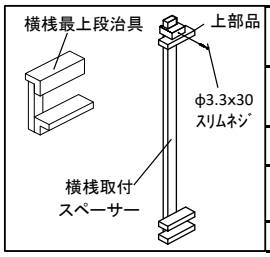
※柱に工場穴加工はありません。

呼称	角寸法 (mm)	長さL (mm)	GL〜H (mm)	埋込深さ (mm)	数量 (本)
T−10用	35x35x2t	1,105	935	170	
T−12用	35x35x2t	1,305	1,135	170	
T−14用	50x50x1.5t	1,610	1,310	300	
T−16用	50x50x1.5t	1,940	1,540	400	
T−18用	60x60x2t	2,110	1,710	400	
T−20用	60x60x2t	2,415	1,915	500	

3 横桟 （横桟柱側）

名称		略図	横桟柱側 L2000	横桟柱側 L1000
横桟柱側	L2000	※横桟に工場穴加工はありません。	1	−
	L1000		−	1
φ4x25ナベドリルネジ			4	2

4 取説・治具



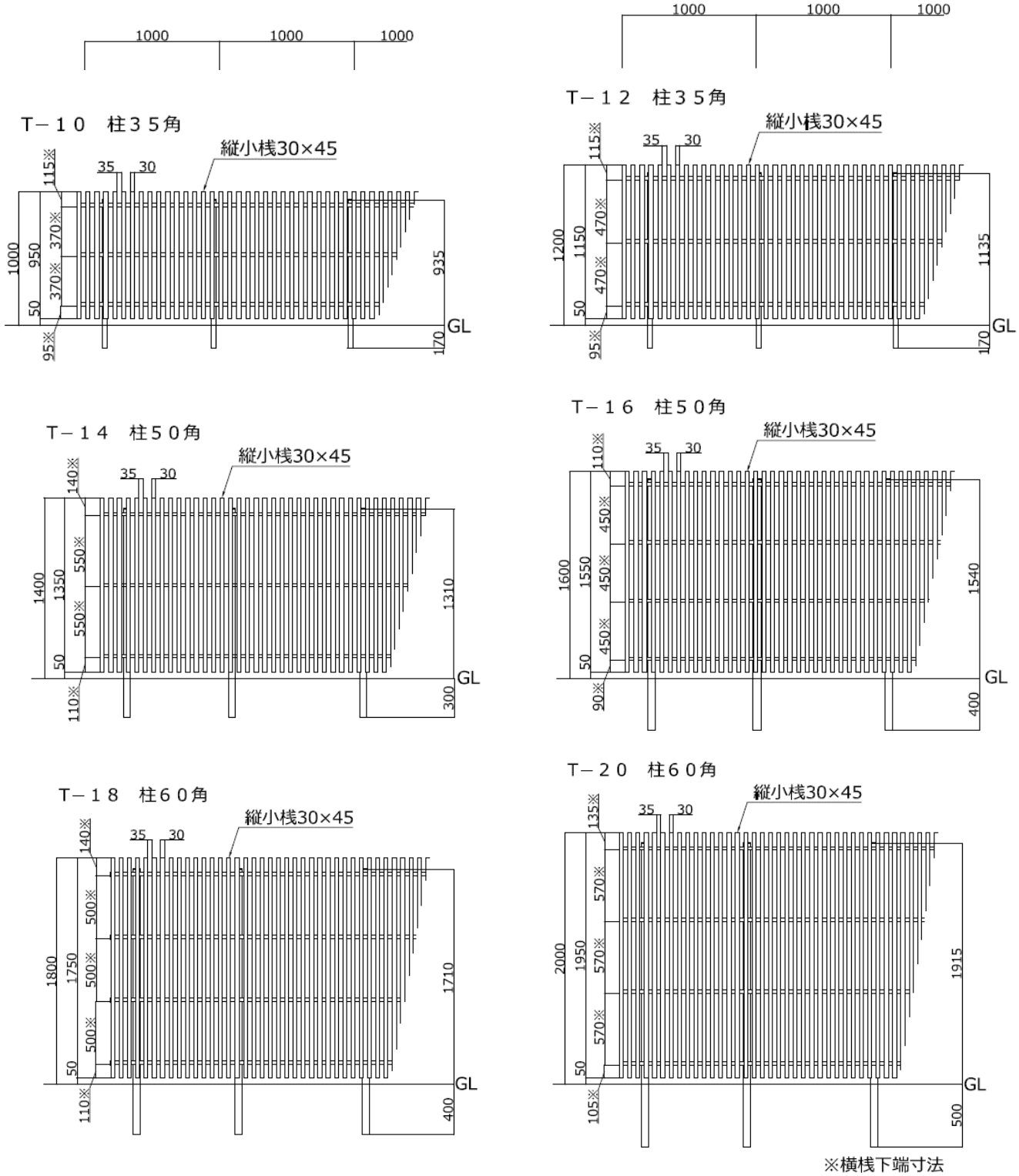
	仕様・必要数
横桟最上段治具	2個/1施工 現場当り
横桟取付 スペーサー	2セット/1施工 現場当り
上部品	
φ3.3x30 スリムネジ	
取付・取扱説明書	1

【別途手配】小口塗料セット　　通常は納品されません。フェンス板(格子)材の現場カットなど
特殊なケースの場合のみ必要な為、別途手配下さい。

名称	略図	数量
小口塗料 (50g)セット 塗布目安 約0.3〜0.4㎡	プライマー (下塗り) 50g ベースコート (中塗り) 50g トップコート (上塗り) 50g	各1本 (合計3本) 刷毛3本付

■基本寸法

30x45



(※)キャップ厚み除く

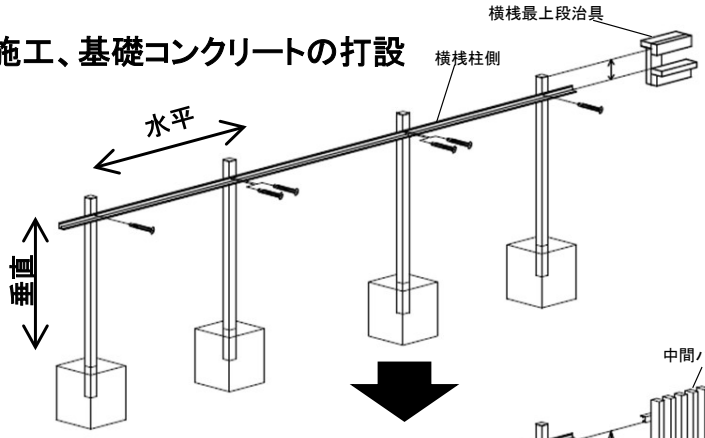
柱型	ブロック上施工可否	縦小桟		柱				横桟段数
		上端高さH (GL+mm)	長さ L (mm)	長さ L(※) (mm)	高さ H(※) (GL+mm)	埋込部 (mm)	断面サイズ (mm)	(本)
T－10	可	1,000	950	1,105	935	170	35x35x2t	3
T－12	可	1,200	1,150	1,305	1,135	170	35x35x2t	3
T－14	－	1,400	1,350	1,610	1,310	300	50x50x1.5t	3
T－16	－	1,600	1,550	1,940	1540	400	50x50x1.5t	4
T－18	－	1,800	1,750	2,110	1710	400	60x60x2t	4
T－20	－	2,000	1,950	2,415	1915	500	60x60x2t	4

取付全体の流れ

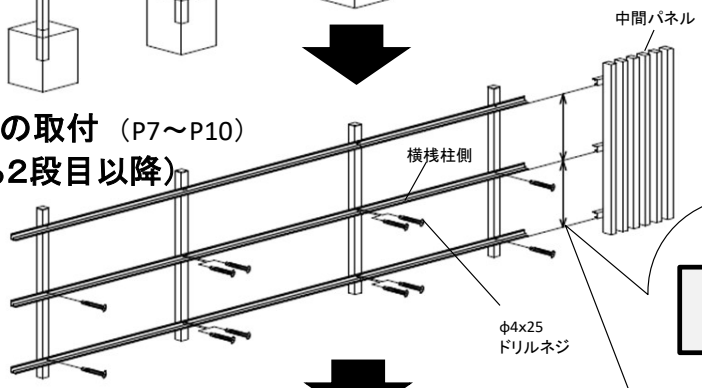
詳細は各項目の説明ページを参照ください。

1 **横桟柱側（最上段）の取付** （P5・P6）

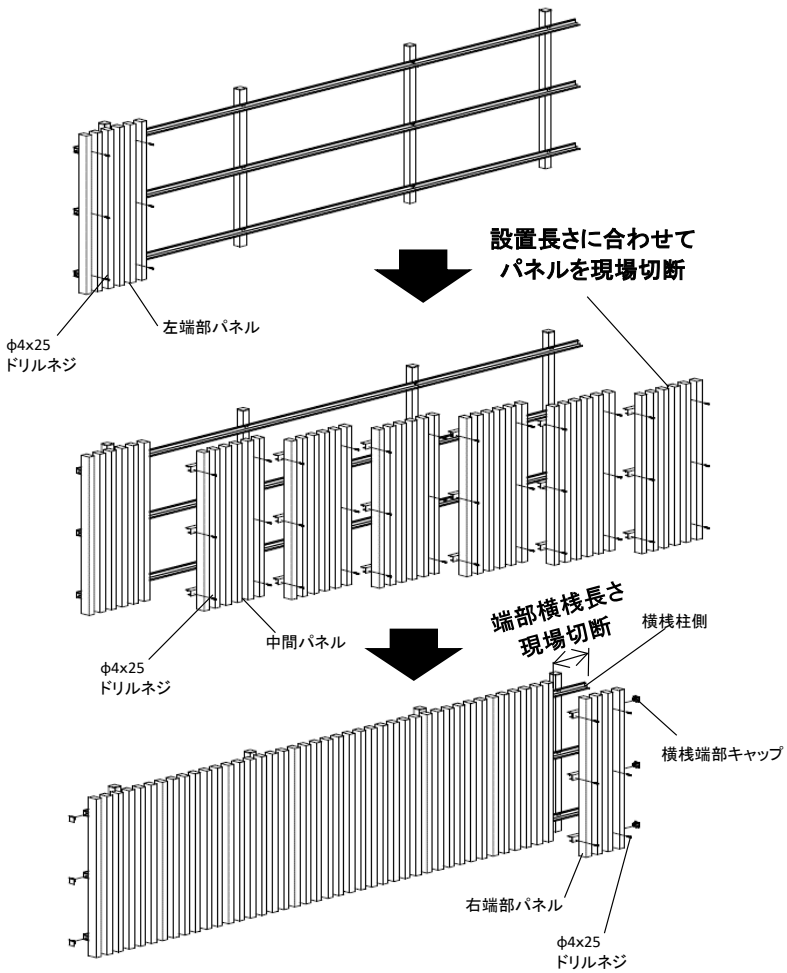
2 **柱の施工、基礎コンクリートの打設** （P6）



3
4 **横桟柱側の取付** （P7～P10）
（上から2段目以降）



5 **パネルの取付け** （P11・P12・P13）



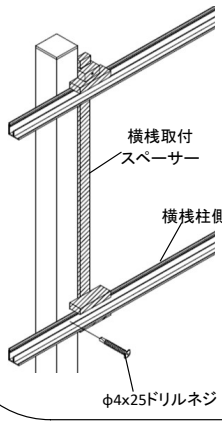
1 柱を仮建てし、横桟最上段治具を使用して横桟柱側の最上段のみ取付します。

2 垂直・水平を確認して、基礎コンクリートを打設します。

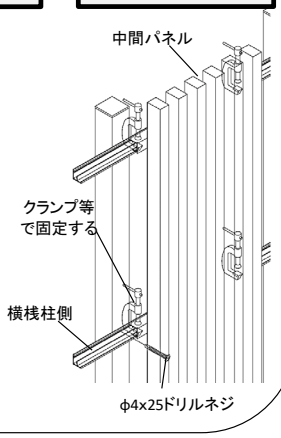
3
4 横桟柱側の最上段を基準に横桟柱側の上から2段目以降を取付します。

取付方法が2種類あります。

横桟取付スペーサーを用いた場合



中間パネルを用いた場合



5 左端部パネルから順に取付けていきます。

右端部パネルを取り付ける前に端部横桟長さを確認し、必要に応じて切断調整してください。

設置長さに合わせて、セミユニットパネルを切断してください。

すべてのセミユニットパネルを取付けします。

横桟端部キャップを取付けします。

■基礎工事について

⚠ 注意

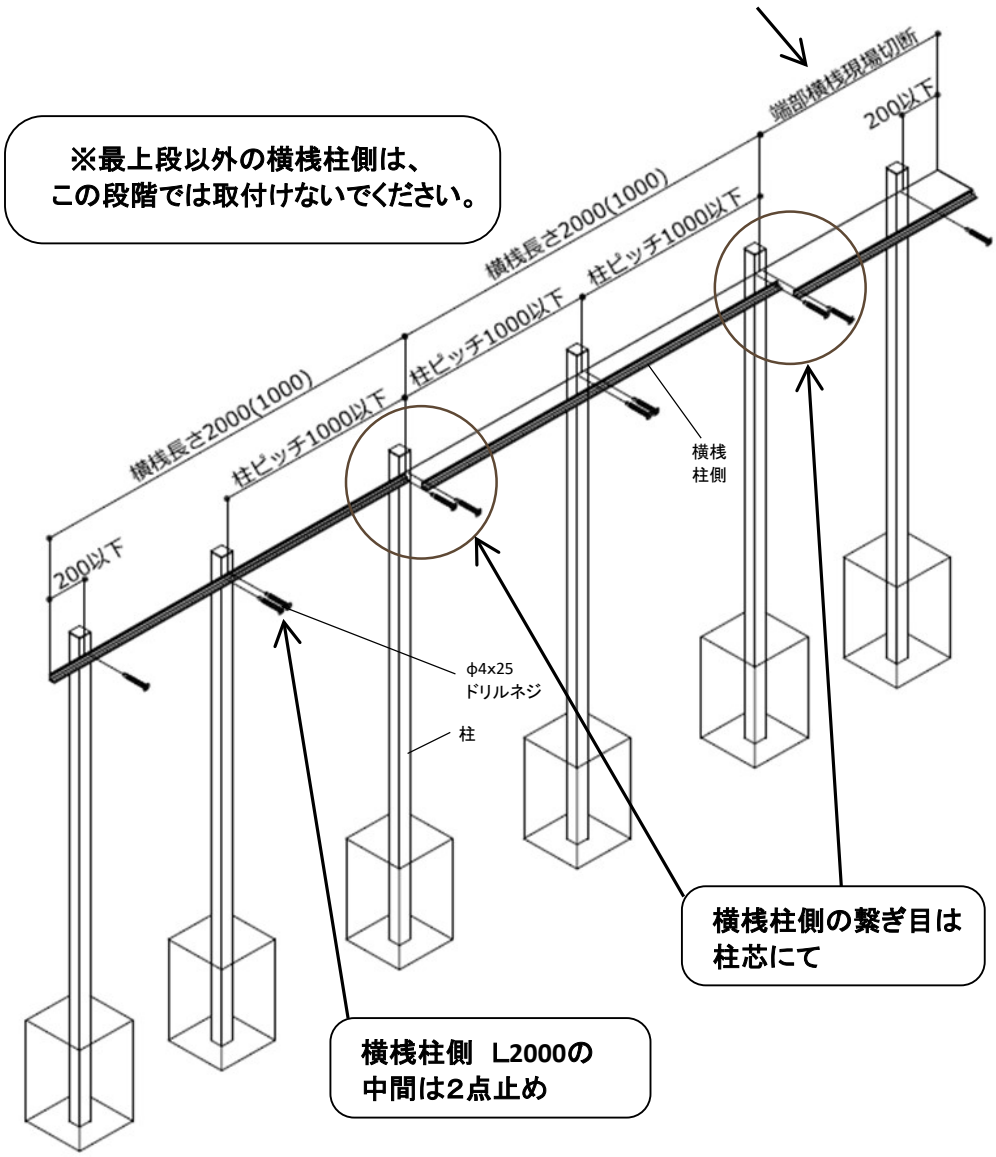
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系の
コンクリート用混和剤（凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤）などは使用しないでください。
アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●指定埋込寸法は必ず守って施工してください。
●高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け、独立基礎施工としてください。

1 横桟柱側（最上段）の取付

①柱の配置（柱の芯から柱の芯までの寸法：1000mm以下）を確認してください。

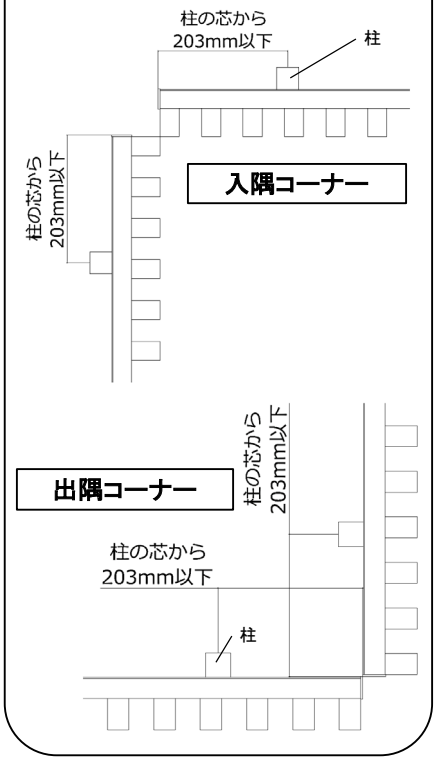
※横桟の張り出しは柱の芯から200mm以下としてください。
（横桟端部ｷｬｯﾌﾟ含むﾊﾟﾈﾙの張り出しは柱の芯から203mm以下としてください。）

※横桟柱側はL2000またはL1000で出荷します。端数はフェンス全幅を確認後の現場切断となります。
⇒端部では20～30mm長めにし、P11『5. パネルの取付け』後の誤差を確認してから正確に切断してください。

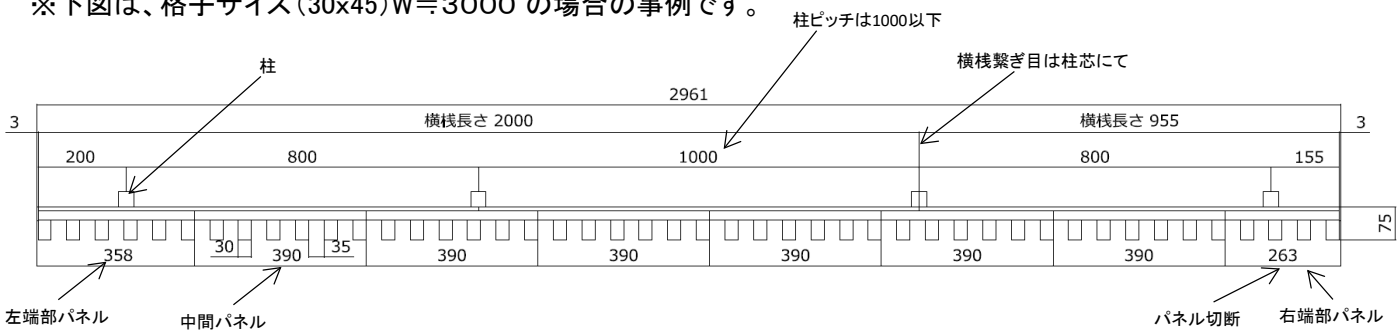


端部張り出し
コーナー部の納め方

横桟の張り出し
柱の芯から200mm+端部ｷｬｯﾌﾟ3mm
＝203mm以下の寸法で、
柱位置をずらして設置します。



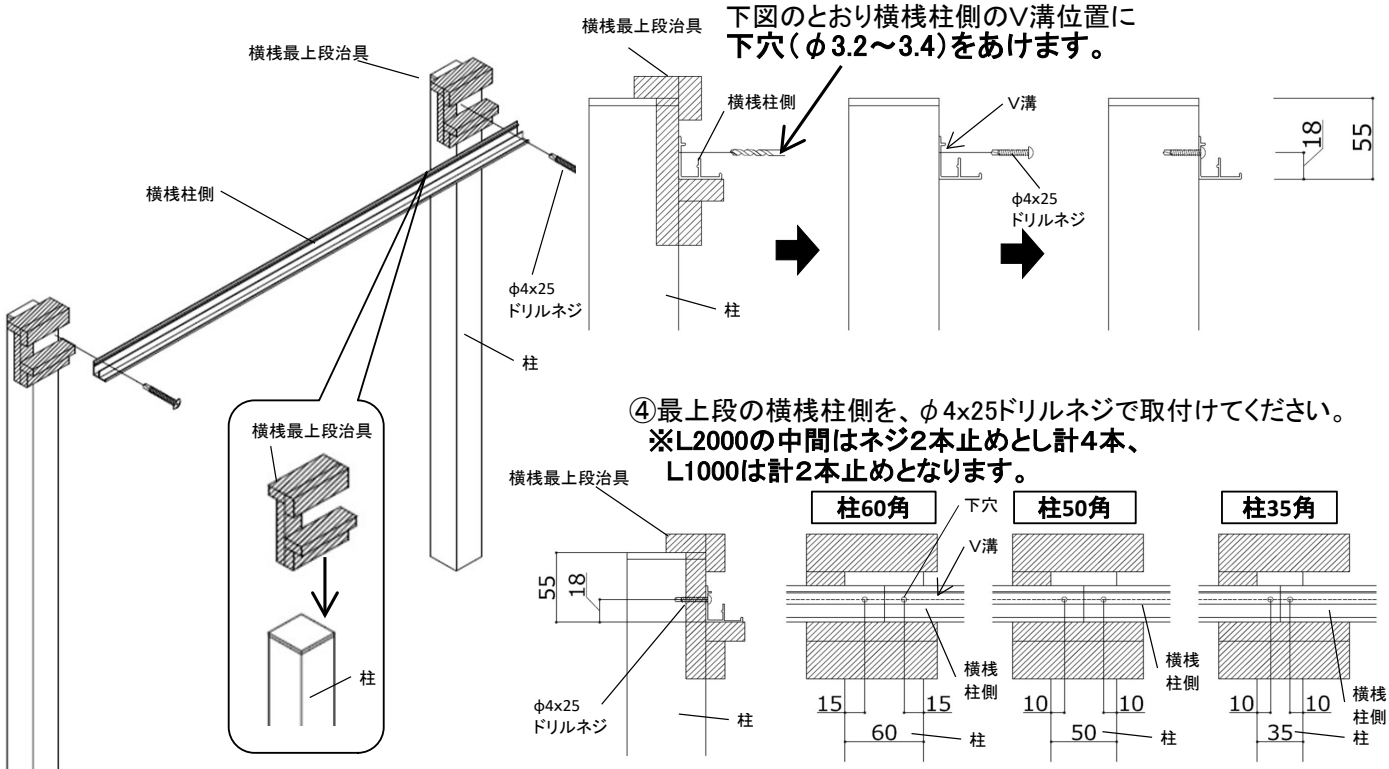
※下図は、格子サイズ（30x45）W≒3000 の場合の事例です。



1 横桟柱側（最上段）の取付つづき

②柱を仮建てし、柱頭に横桟最上段治具を仮置きします。

③横桟最上段治具に横桟柱側を合わせ、
下図のとおり横桟柱側のV溝位置に
下穴（φ3.2～3.4）をあけます。

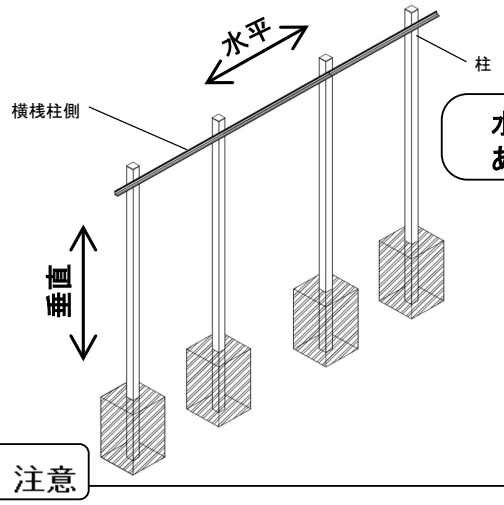


④最上段の横桟柱側を、φ4x25ドリルネジで取付けてください。
※L2000の中間はネジ2本止めとし計4本、
L1000は計2本止めとなります。

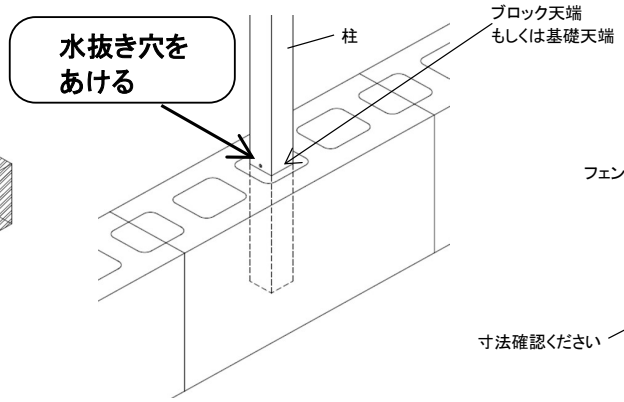
※最上段以外の横桟柱側は、この段階では取付けないでください。

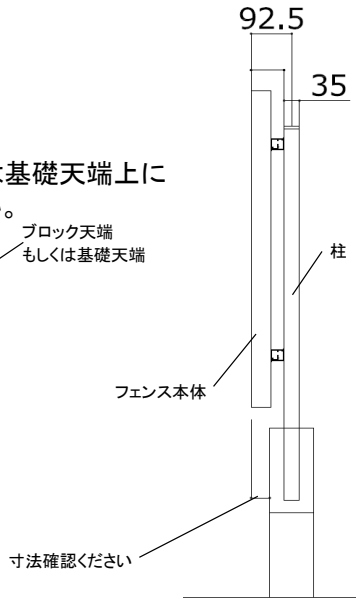
2 柱の施工、基礎コンクリートの打設

①垂直・水平を確認して、基礎コンクリートを打設します。



②柱内側のブロック天端もしくは基礎天端上に
必ず水抜き穴をあけてください。





⚠ 注意

●必ず柱に水抜き穴をあけ、柱穴に柱を立てモルタルを打設してください。
※モルタルを打設後に柱を立てると柱内部に水がたまり、凍結破損の原因になります。
※ブロックまたは基礎石施工の場合、発泡体のない状態で柱を施工すると、凍結破損の要因になります。

●ブロック施工の場合、フェンス本体がブロック幅より外に出る場合があります。

●高さH1200超はブロック上の施工ができません。
●高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け、独立基礎施工としてください。

⚠ 注意

●柱の埋込深さは、基本寸法図のとおりにしてください。
深さが不足すると強風による飛散・倒壊事故の要因になる場合があります。
●柱は必ず垂直に施工してください。

⚠ 注意

●必ず下記の取付順を守ってください。
●基礎コンクリートが完全に硬化してから、上から2段目以降の横桟、セミユニットパネルを取付けてください。
●上から2段目以降の横桟柱側の取付は、横桟取付ｽﾍﾟｰｻｰを使用するか、中間パネルを使用するかのどちらかの取付方法で行ってください。製作誤差や温度変化を吸収した取付となります。

上から2段目以降の横桟の取付は「3」または「4」のどちらかで取付してください。

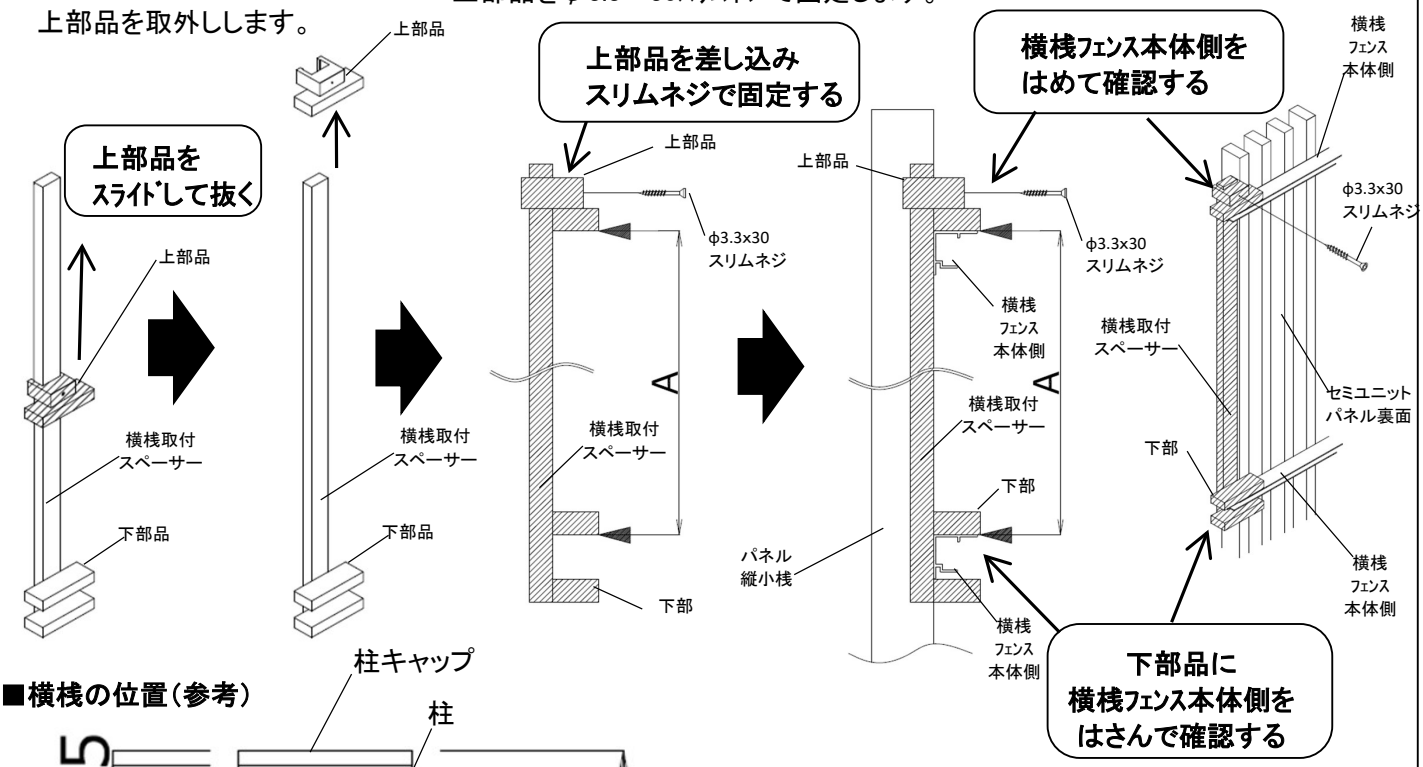
3 横桟柱側の取付（上から2段目以降）

横桟取付スペーサーを用いた場合

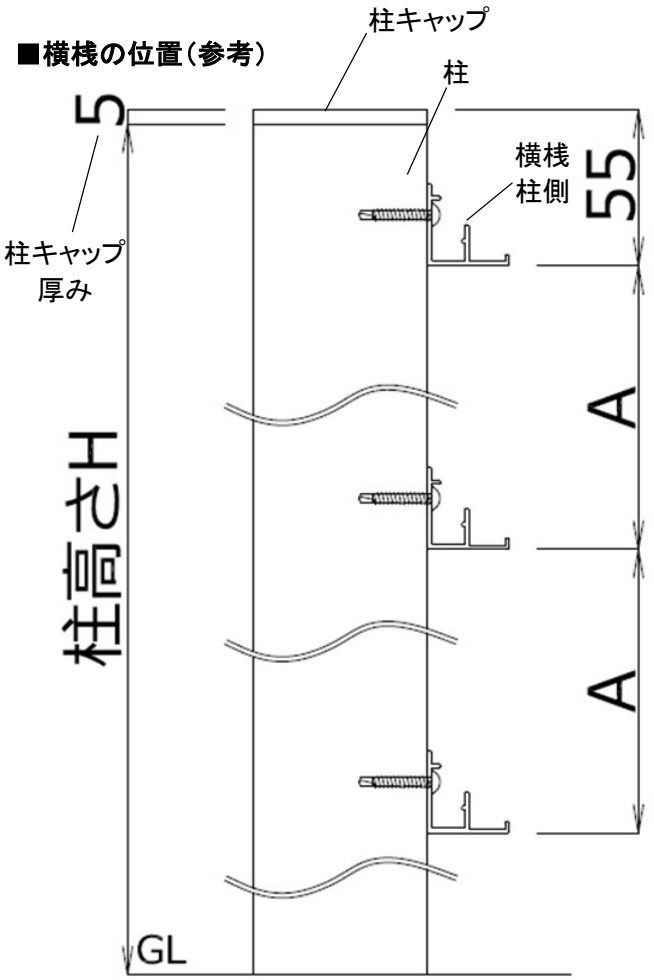
①横桟取付スペーサーから上部品を取外しします。

②下表を参照してA寸法になるように上部品をφ3.3×30ｽﾘﾑﾈｼﾞで固定します。

③上部品を取付後、横桟取付ｽﾍﾟｰｻｰをフェンス本体側の横桟にはめ込み、問題がないか確認してください。



■横桟の位置（参考）



⚠ 注意

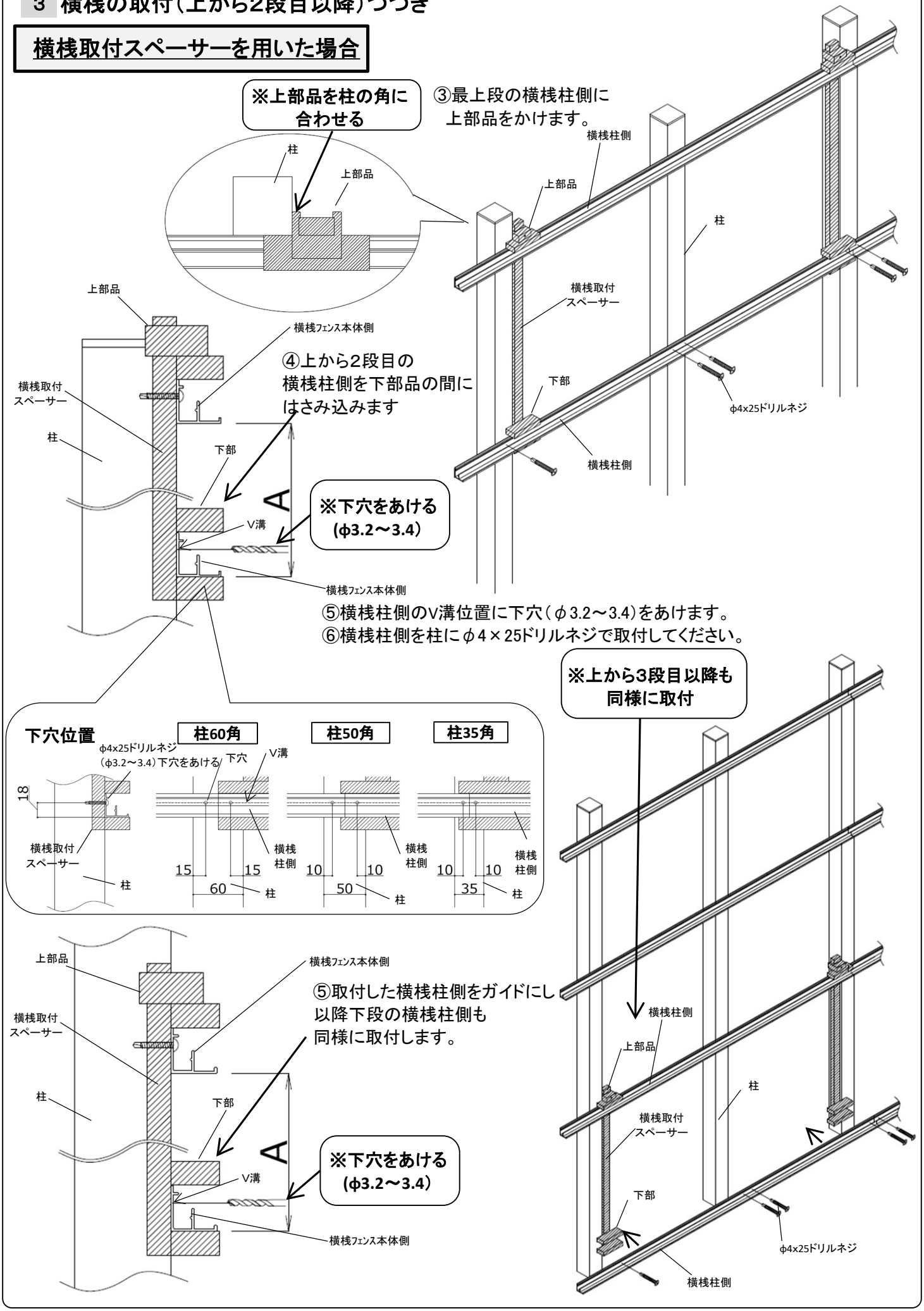
●横桟位置は製作誤差や温度変化により変化します。
下記寸法を参考にしていただき、
実際のパネル本体寸法を確認ください。

＜横桟ピッチ　A寸法＞（上部品取付A寸法）

サイズ	柱高さH（GL～）ｷｬｯﾌﾟ厚み除く	A	横桟段数
T−10	935	370	3
T−12	1135	470	3
T−14	1310	550	3
T−16	1540	450	4
T−18	1710	500	4
T−20	1915	570	4

3 横桟の取付（上から2段目以降）つづき

横桟取付スペーサーを用いた場合



⚠ 注意

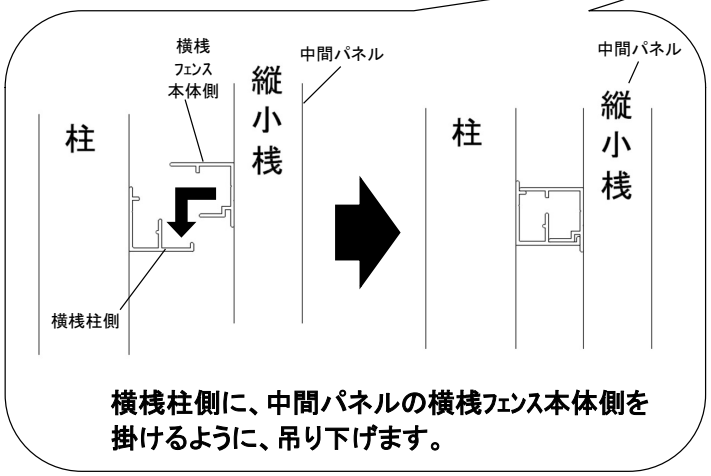
●必ず下記の取付順を守ってください。
●基礎コンクリートが完全に硬化してから、上から2段目以降の横桟、セミユニットパネルを取付けてください。
●上から2段目以降の横桟柱側の取付は、横桟取付ｽﾍﾟｰｻｰを使用するか、中間パネルを使用するかの
どちらかの取付方法で行ってください。製作誤差や温度変化を吸収した取付となります。

上から2段目以降の横桟の取付は「3」または「4」のどちらかで取付してください。

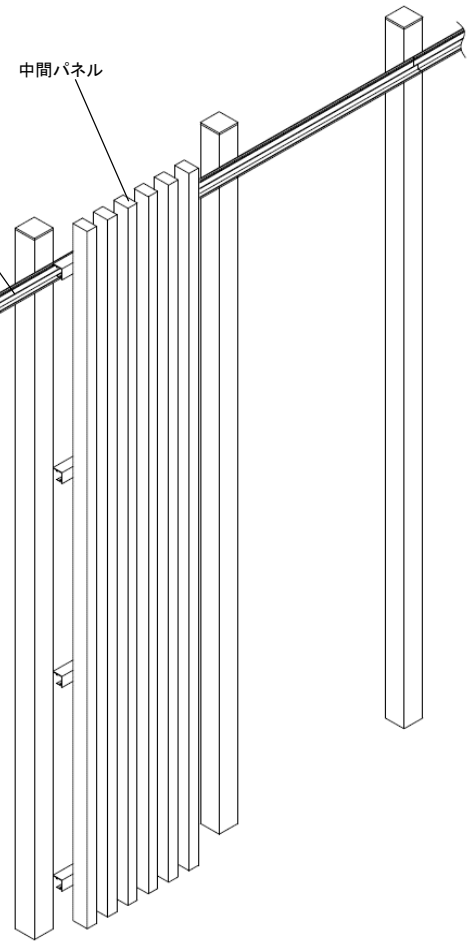
4 横桟柱側の取付（上から2段目以降）

中間パネルを用いた場合

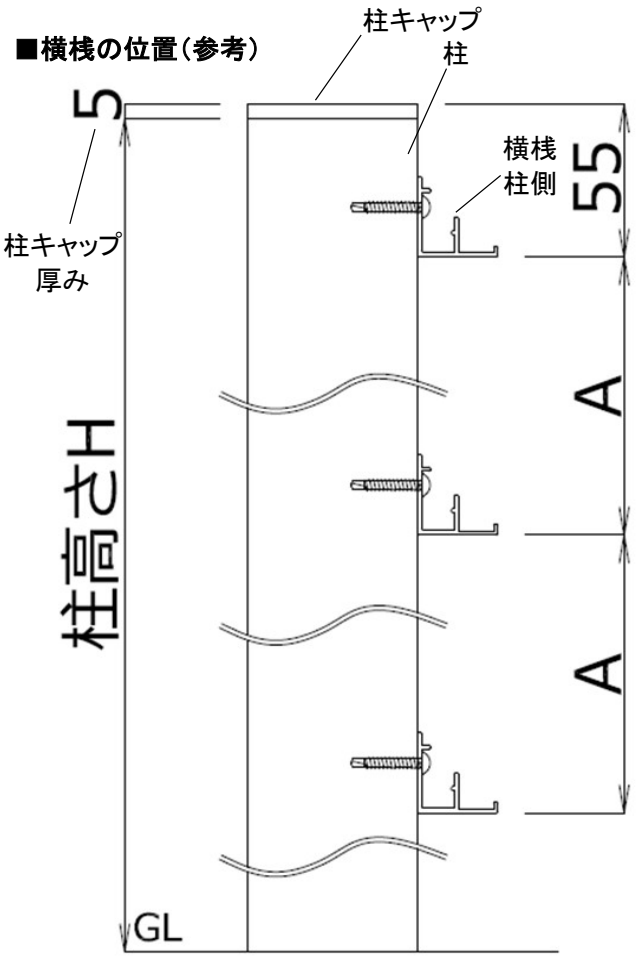
①横桟柱側（最上段）に
中間パネルを吊り下げます。



**横桟柱側に、中間パネルの横桟ﾌｪﾝｽ本体側を
掛けるように、吊り下げます。**



■横桟の位置（参考）



⚠ 注意

●横桟位置は製作誤差や温度変化により変化します。
下記寸法は参考寸法としていただき、
実際のパネル本体寸法を確認ください。

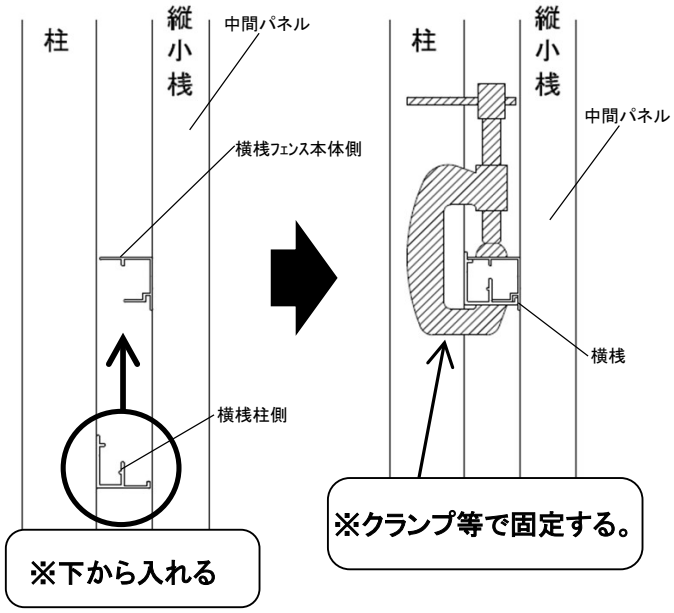
＜横桟ピッチ　A寸法＞

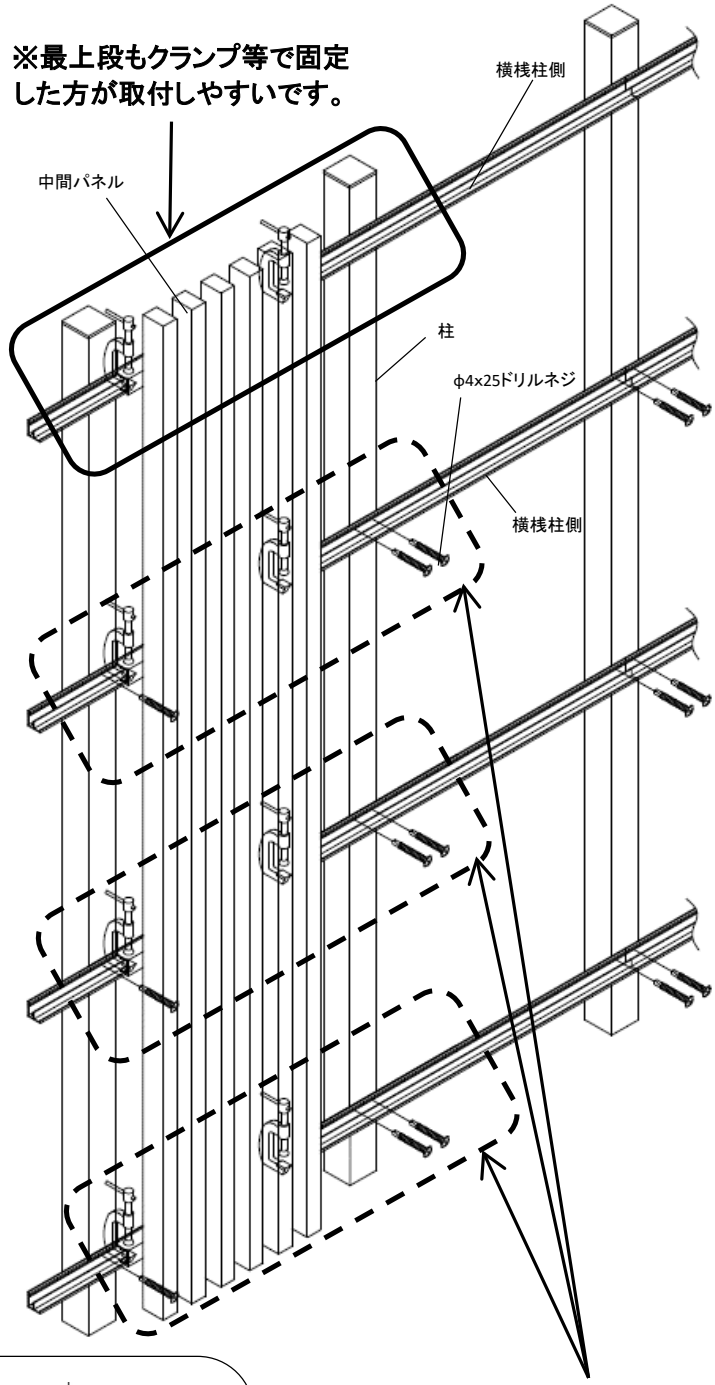
サイズ	柱高さH（GL～）ｷｬｯﾌﾟ厚み除く	A	横桟段数
T-10	935	370	3
T-12	1135	470	3
T-14	1310	550	3
T-16	1540	450	4
T-18	1710	500	4
T-20	1915	570	4

4 横桟の取付（上から2段目以降）つづき

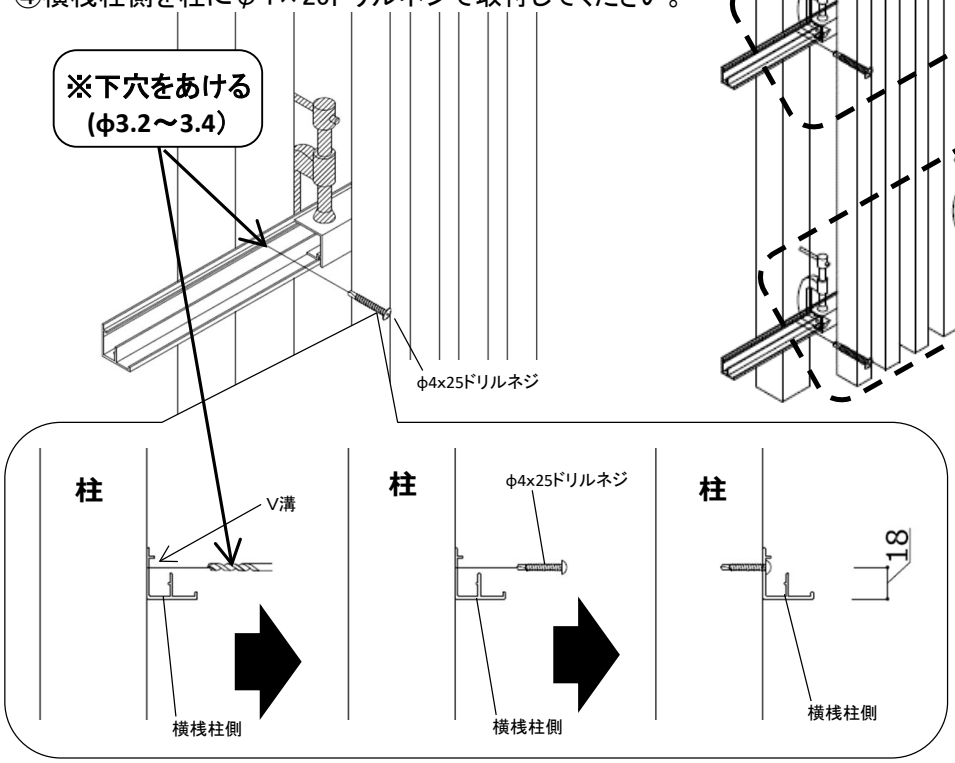
中間パネルを用いた場合

②上から2段目以降の中間パネル、横桟ﾌｪﾝｽ本体側に、
下方から横桟柱側を仮に組付けし、クランプ等で押えます。





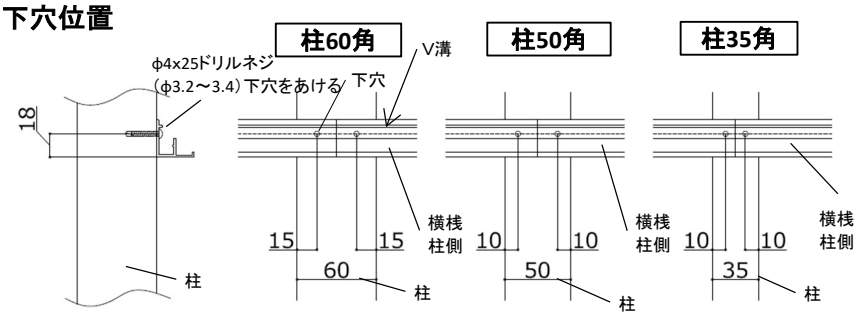
③横桟柱側のV溝位置に下穴（φ3.2～3.4）をあけます。
④横桟柱側を柱にφ4×25ドリルネジで取付してください。



※2段目以降は横桟柱側を
ネジで組付けする時に
クランプ等で固定します。

クランプ等は横桟柱側の
組付けが出来た箇所から、
次に組付けする場所へ
順番に取付けします。

下穴位置



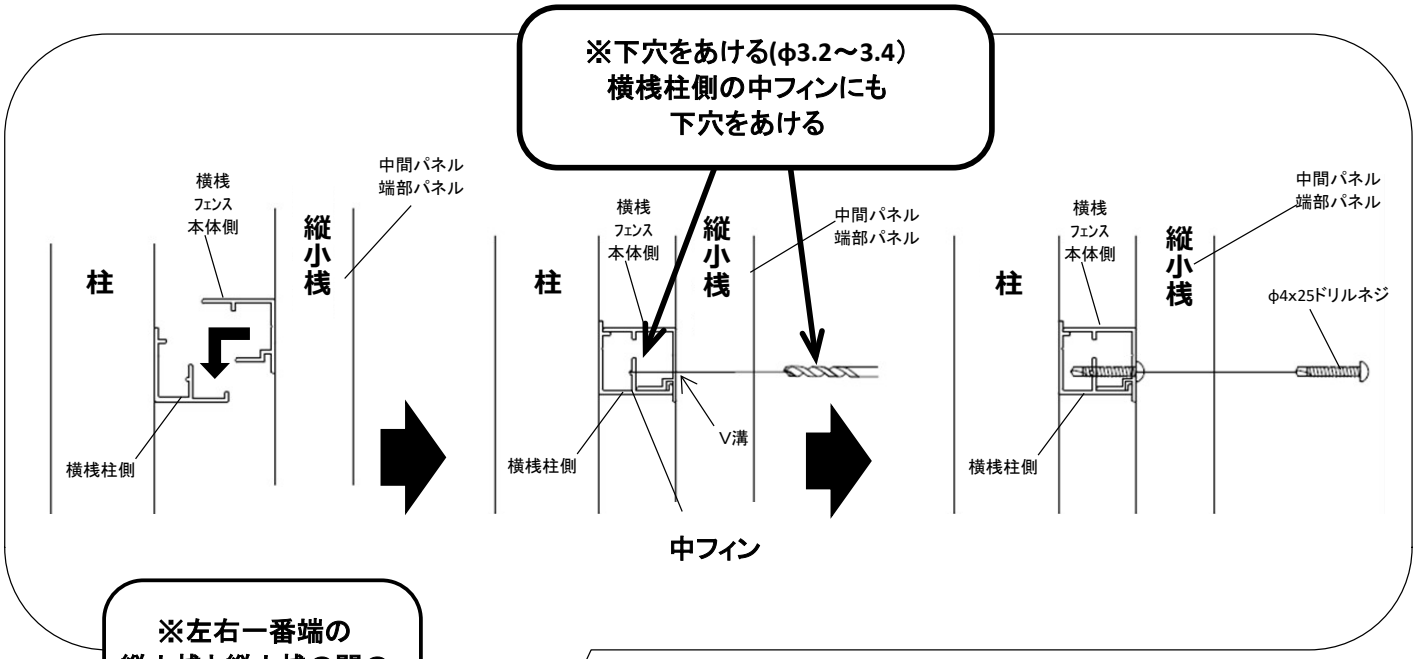
5 パネルの取付け

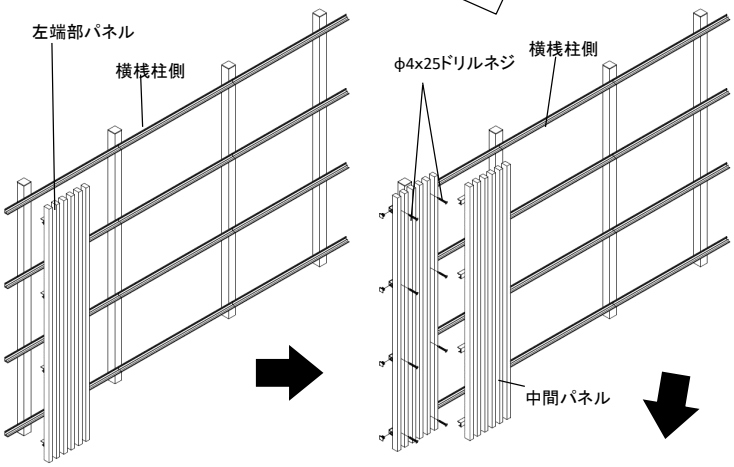
※障害物等により横桟端部キャップを後から取付出来ない場合はP13を参照して下さい。

①左端部パネルから順に取付けていきます。

②納まり具合を確認し、**左右一番端の縦小桟と縦小桟の隙間**のV溝位置でφ4x25ドリルネジ**2本**で取付けします。

※横桟・柱に下穴（φ3.2～3.4）をあけてから取付けてください。
※高さ方向すべての段の横桟に、**1段当りネジ2本づつ取付け**してください。

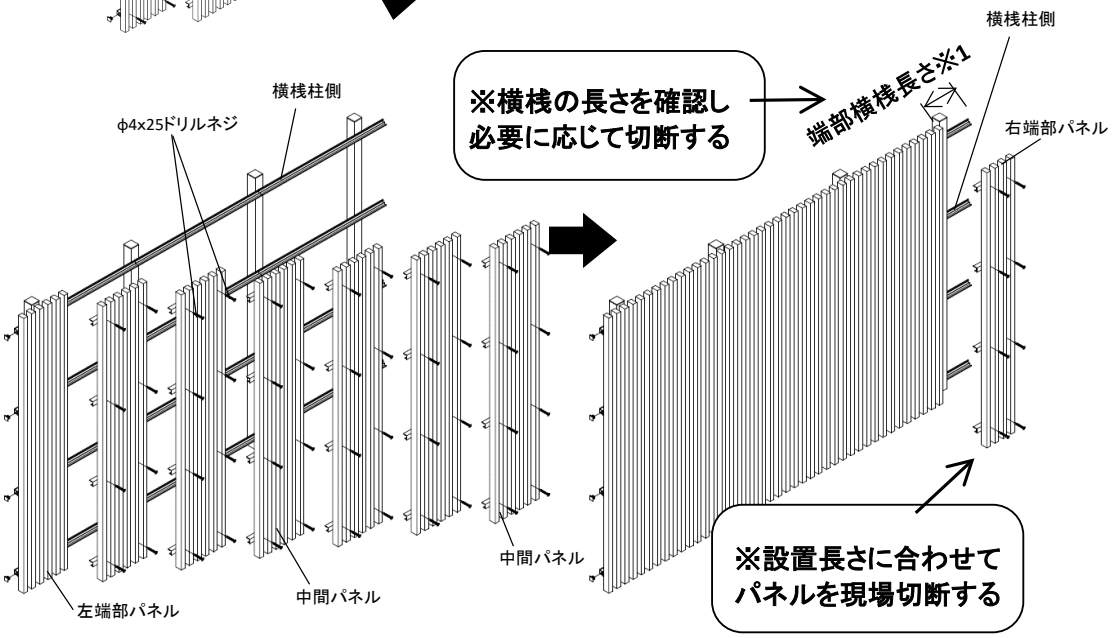




③右端部パネルを取り付ける前に
『端部横桟長さ※1』を確認し、必要に応じて
切断調整してください。
設置長さに合わせて、セミユニットパネルを
切断してください。

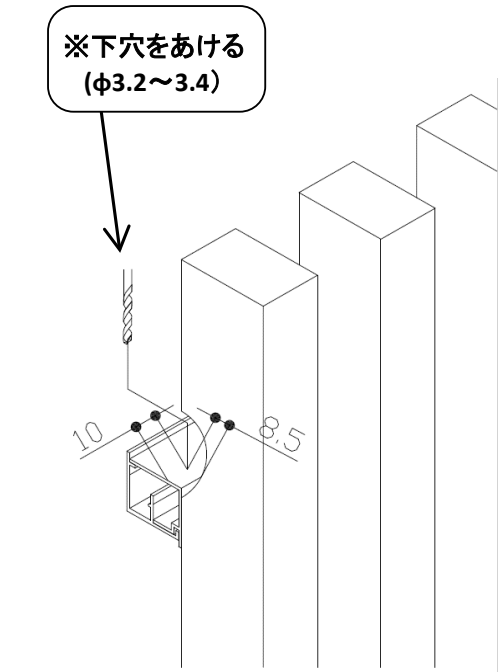
**※セミユニットパネルを切断する場合は
右端部パネルを切断してください。**

④すべてのセミユニットパネルで
同様の取付けをします。

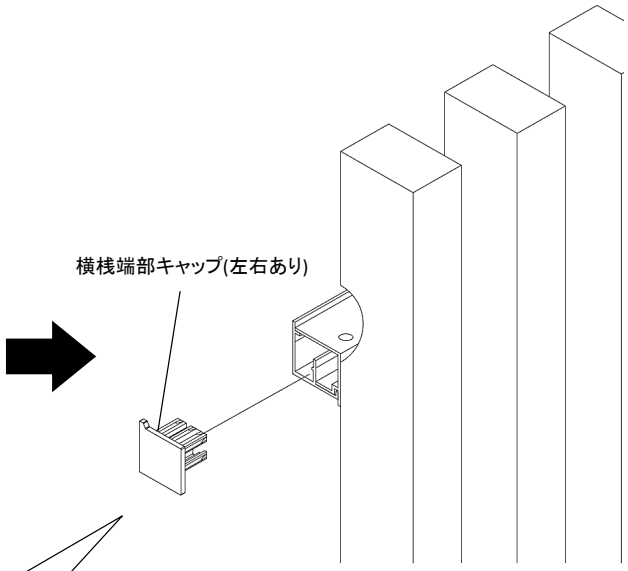


6 横桟端部キャップの取付け

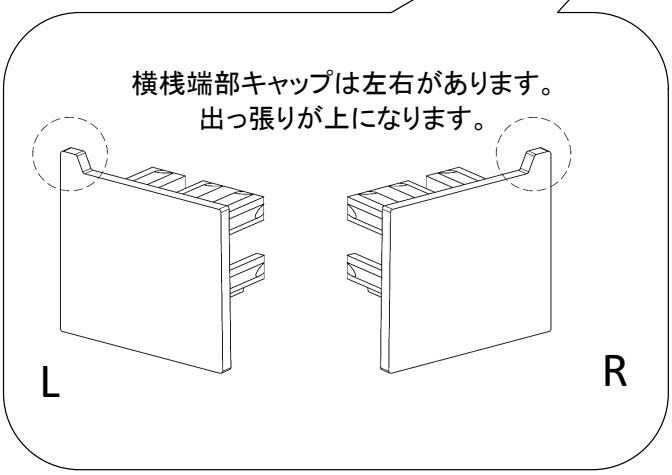
①寸法の位置に下穴（φ3.2～3.4）をあけます。

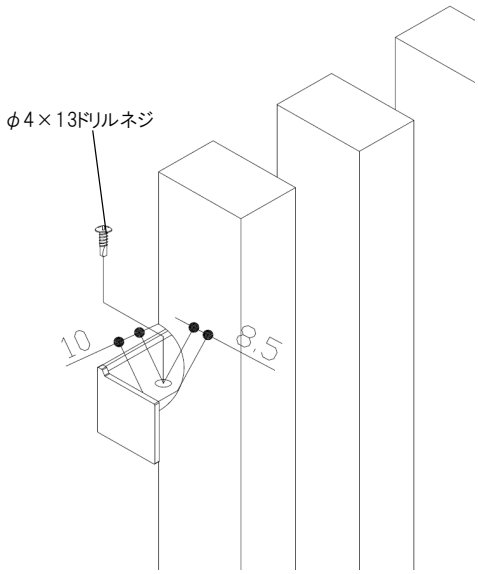


②横桟端部キャップを取付けます。



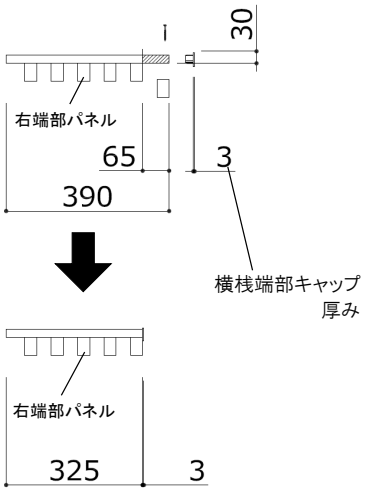
③φ4×13ドリルネジで取付けをしてください。





■セミユニットパネルの現場幅切詰めについて

右端部パネルを切断する場合
横桟端部キャップを取り付ける前に、
縦小桟を取り外し横桟ﾌｪﾝｽ本体側を切断します。
※右切詰単位＝縦小桟見付＋隙間です。
横桟端部キャップを取り付けします。



切詰単位表(規格寸法)

縦小桟見付幅	隙間	切詰単位
30	35	65

7 障害物等により端部キャップを後から取付け出来ない場合

①横桟端部キャップを横桟パネル側に先に取付けします。

取付方法はP12「6.横桟端部キャップの取付け」を参照して下さい。

φ4×13ドリルネジ
※下穴(φ3.2～3.4)を
あけてください。

10

8.5

横桟端部キャップ(左右あり)

横桟端部キャップは左右があります。
出っ張りが上になります。

L

R

②端部キャップ付のパネルを横桟柱側に取付けします。

③以降は通常の組付けと同様になります。

- MEMO -

HANATECH
GARDENS